

校訓《自律と創造》 貝塚市立第四中学校

四中だより



平成25(2013)年 11月号 TEL433-1340 FAX433-1823

校長室から 井出 博 <http://www.kaizuka.ed.jp/dai4-jh/>

3つの実践（心は形をつくり、形は心を調える）

①あいさつは自分から先にしよう

②返事はハイとはっきりしよう

③はきものはそろえ、イスはいれよう

☆第38回体育大会 9月28日（土）開催

今年は9月に入っても暑い日が続き、たいへんきびしい環境の中、連日の練習を頑張りぬきました。二日前の予行ではたいへん気合が入ったよい練習ができ、感動と元気を与えられるような本番になるようみんなで心に誓いました。

本番当日は、最後まであきらめず、胸をはって全力で走りぬける事ができました。力と心を合わせた、ダンスや組み立てには、大きな拍手をいただき、一所懸命に取り組むかっこいい四中生の姿がありました。



☆なかよし運動会 10月4日（金）総合体育館

四中の生徒は、小学校や他の中学生と交流したり、徒競走のゴールのテープ係りの仕事を積極的にいきみんなの役に立ちました。



☆音楽鑑賞会 10月22日(火) コスモシアター大ホール

大阪大学混声合唱団のみなさんに、すばらしい合唱をしていただき、四中生にとって“本物に出会う”という意味で貴重な体験をしました。発声練習の仕方を教えていただいたり、各学年の課題曲も模範となりました。11月8日(金)の合唱コンクールに向けて練習が本格スタートです。



平成25年度 全国学力・学習状況調査のまとめ

今年の4月、3年生対象の全国学力・学習状況調査(国語と数学、生活・学習アンケート)が行われました。生徒の個人結果につきましては、すでに各ご家庭にお渡ししておりますが、この度は、調査結果の主な傾向と今後の取り組みについてお知らせいたします。

《1》学力調査結果の主な傾向

【国語】

- ・ A, B問題共に無解答率が大阪府に比べ低い。特に国語Aについては全国と比較しても無解答率が低かった。
- ・ 語句の正確な意味が理解できておらず、文脈の中で適切に使う力が弱い傾向にある。
- ・ 文章中で比喻を用いた表現について理解する力に欠ける。
- ・ 与えられたテーマに対し、課題を決めそれに応じた情報の収集方法を考える力に課題がみられる。
- ・ 国語の勉強は大切だし、将来、社会に出たときに役立つと考えている生徒は多い。その反面、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと考えている。

【数学】

- ・ A問題については無解答率が全体的に低い。
- ・ 直感的に考えやすい図形問題や資料の活用については良好な結果がみられる。
- ・ 数学的な技能においての無解答率が高い傾向にあり、学んだ知識が活用できるまで習熟できていない。
- ・ 答えを選んだ理由を説明したり、自分の考えを式や言葉を使って書く問題は、無解答率が高い傾向にある。
- ・ 数学の勉強は好きではないが、大切だと考えている生徒が8割、さらにできるようになりたいと思う生徒が9割いる。反面、数学が将来役に立つと考えている生徒が少ない。

《2》生活・学習アンケート調査結果の主な傾向

【自尊感情について】

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」は、府平均より 6.4%高く、「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」は、3.4%高い。「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しています」は府平均より 7.9%高く、また、「自分の行動や発言に自信を持っていますか」は 8.1%高い。

【生活習慣について】

- ・「朝食を毎日食べていますか」は、昨年度より 3.8%の伸び率を示し、「毎日同じくらいの時間に起きていますか」は、府平均より、5.3%高い。

【家庭学習について】

- ・「家で自分で計画を立てて勉強していますか」は府平均より 10.5%高く、「学校の授業の予習・復習をしていますか」は 18%も高い。

【規範意識について】

- ・「友達が悪いことをしたときは注意しますか」は府平均より 10.6%高く、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」は、5.1%高く昨年度より 4.5%の伸び率を示している。

【授業づくり】

- ・「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」は府平均より 18.9%高く、昨年度より 22.2%の伸び率を示している。
- ・「普段の授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されているとおもいますか」は府平均より 5.3%低い値を示している。

《3》学力向上にむけた今後の取組み

【学力向上の面から】

- ・子どもの意見や活動を大切にし、じっくり考えさせる授業に取り組む。
- ・授業のはじめに授業の目標（めあて・ねらい）を示し、ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりを推進する。
- ・基礎基本の定着、活用・応用力を付けるために少人数授業や習熟度別授業など、授業形態を工夫する。
- ・授業研究をすすめ、学び合う授業づくりを推進する。

【生活指導の面から】

- ・チャイム着席など、授業規律を定着させ学ぶ姿勢・態度・意欲を育てる。
- ・仲間づくりの中で学び合う学習集団づくりを進める。
- ・自主学ノートを中心に取組みを進め、生徒理解も含め自主学習力を高める。

【家庭との連携】

- ・予習や復習など家庭学習の定着を一層すすめる。
- ・あいさつ・返事・靴を揃える等規則正しい生活習慣をつけていく。